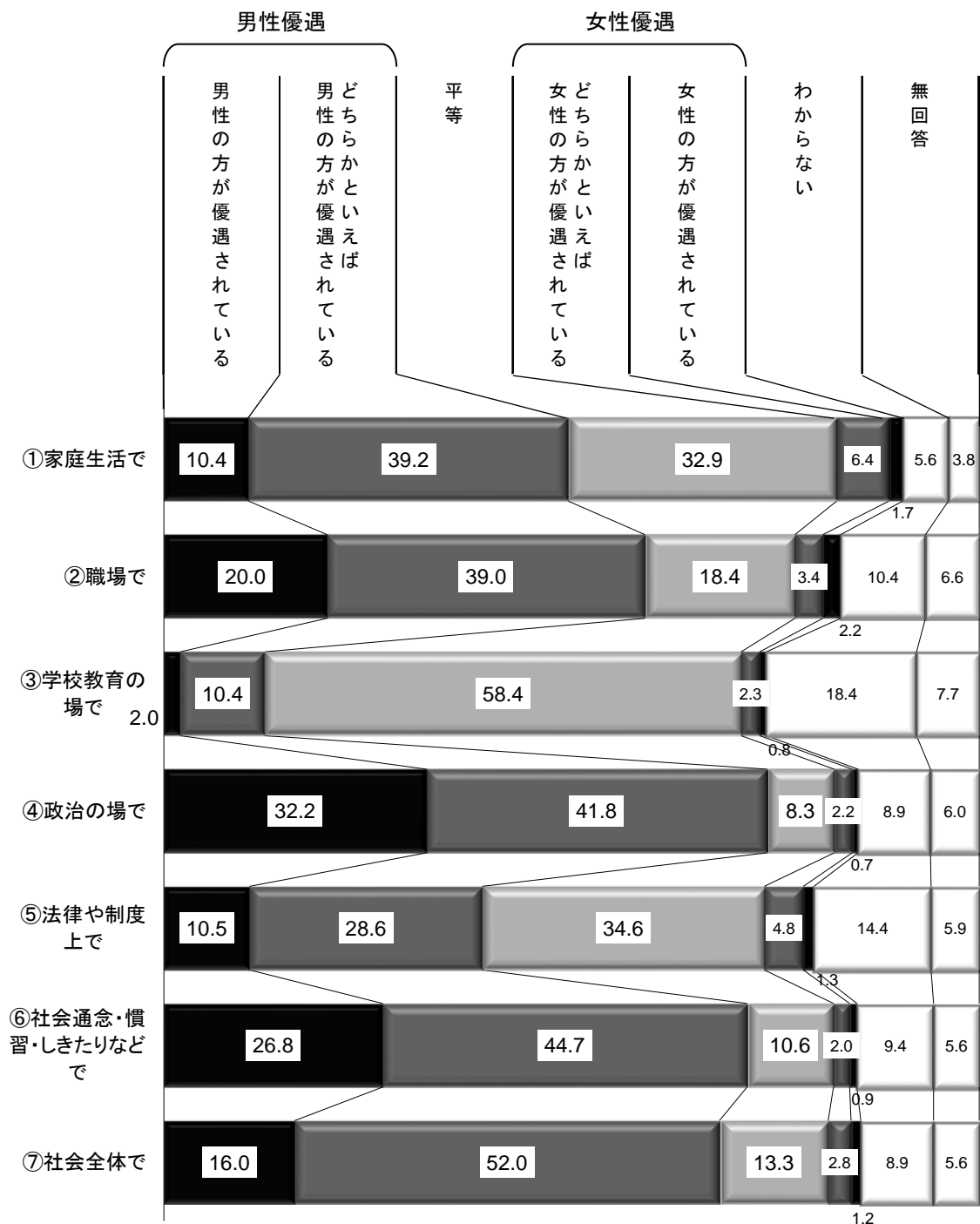


3. 男女共同参画

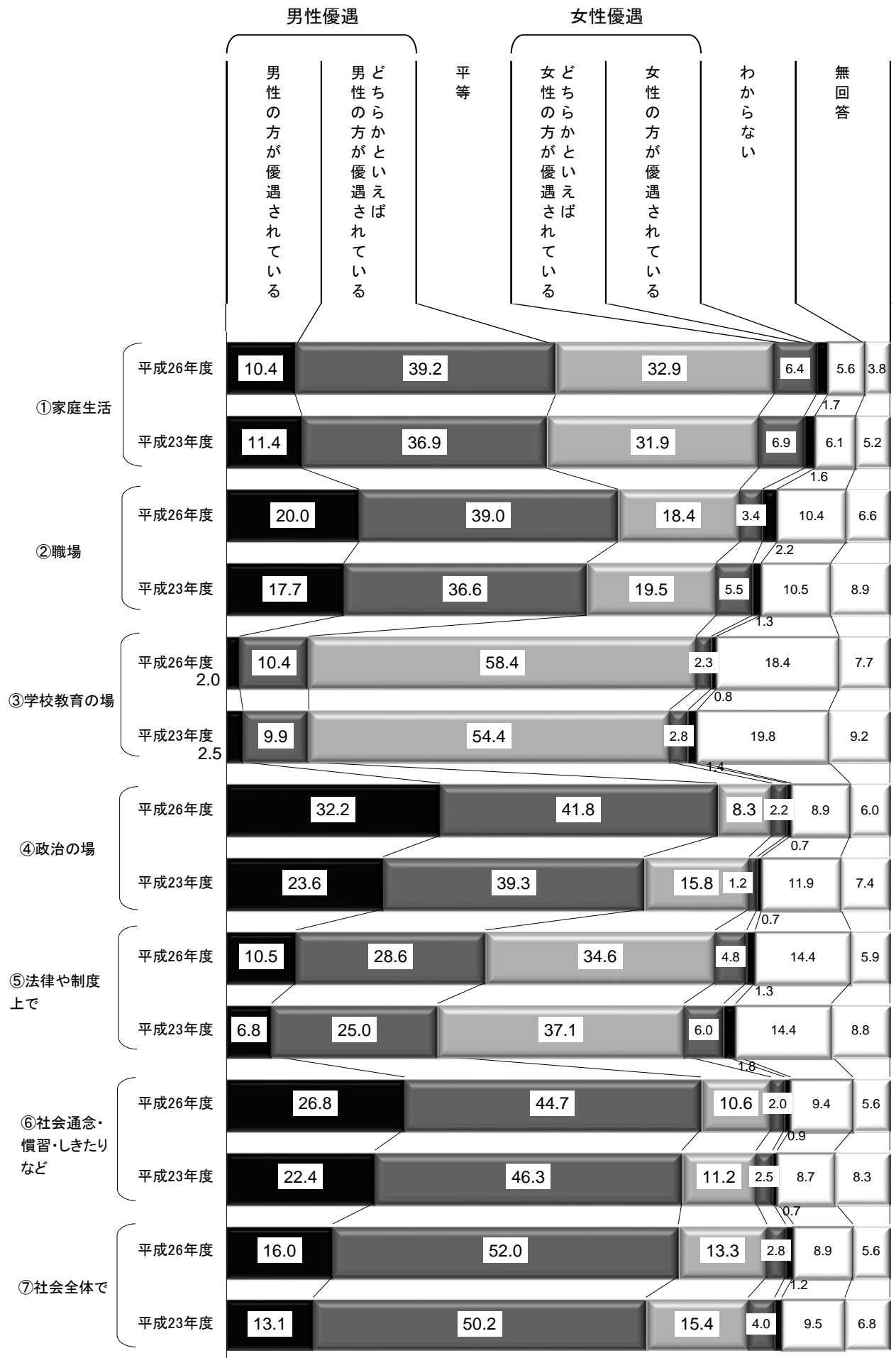
(1) 男女の地位の平等感

問7 あなたは、ここにあげるような分野で、男女の地位は平等になっていると思いますか。①～⑦のそれぞれの項目について、あなたのお気持ちに最も近いものの番号を1つずつ選んで○をつけてください。

「家庭生活」、「学校教育」、「法律や制度上」以外は「男性優遇」が過半数以上



(単位: %)



男女の地位の平等感について、「平等」と回答した割合は「③学校教育の場」が58.4%で最も高くなっている。一方で、「男性優遇」（「男性の方が優遇されている」「どちらかといえば男性が優遇されている」と回答した割合は「④政治の場」が74.0%で最も高く、次いで「⑥社会通念・慣習・しきたりなど」（71.5%）、「⑦社会全体で」（68.0%）の順となっており、すべての項目において「女性優遇」（「どちらかといえば女性が優遇されている」「女性の方が優遇されている」）を上回っている。

前回調査との比較では「平等」と回答した割合が、「①家庭生活」では1.0ポイント、「③学校教育の場」では4.0ポイント増加しているが、他の項目においては減少している。

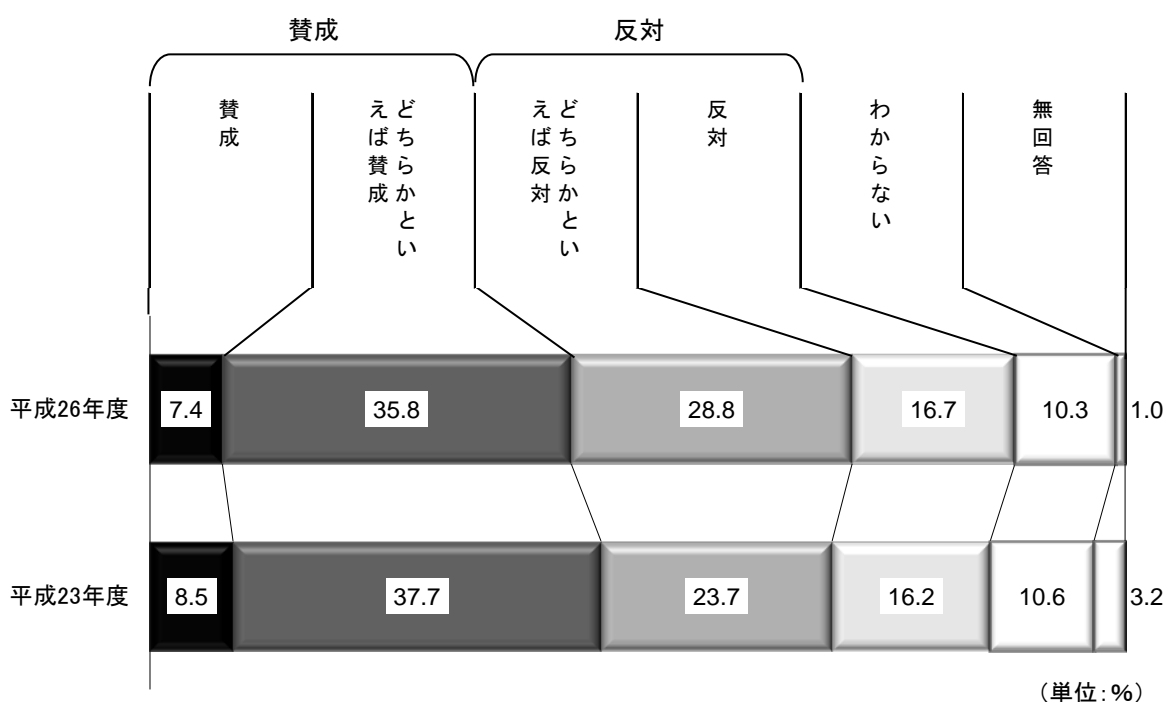
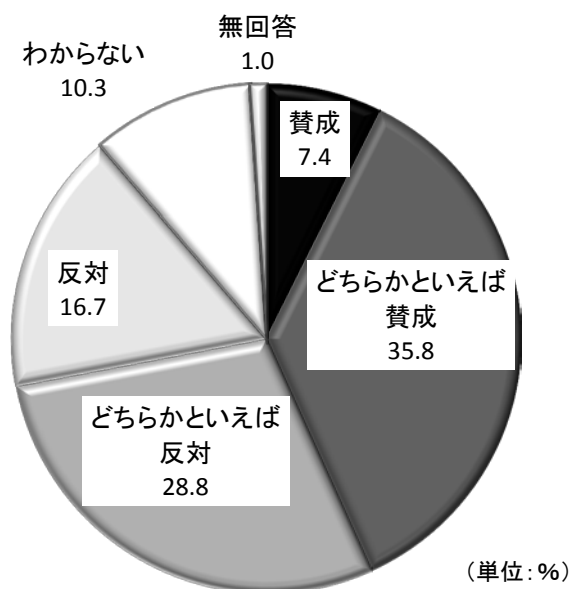
(2) 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方

問8 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方がありますが、あなたはこの考え方に賛成ですか。それとも反対ですか。次の中から、あなたのお気持ちに近いものを1つだけ選んでください。

「賛成」は 43.2%で、「反対」は 45.5%

「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について、「賛成」「どちらかといえば賛成」と回答した割合は 43.2%で、「反対」「どちらかといえば反対」は 45.5%となっている。

前回調査との比較では、「賛成」と回答した割合が 3.0 ポイント減少し、「反対」は 5.6 ポイント増加している。



〈属性による比較〉

【生活圏別】

「賛成」と回答した割合は広島生活圏が最も高く 43.5%で、「反対」と回答した割合は備北生活圏が最も高く 50.2%となっている。

【性別】

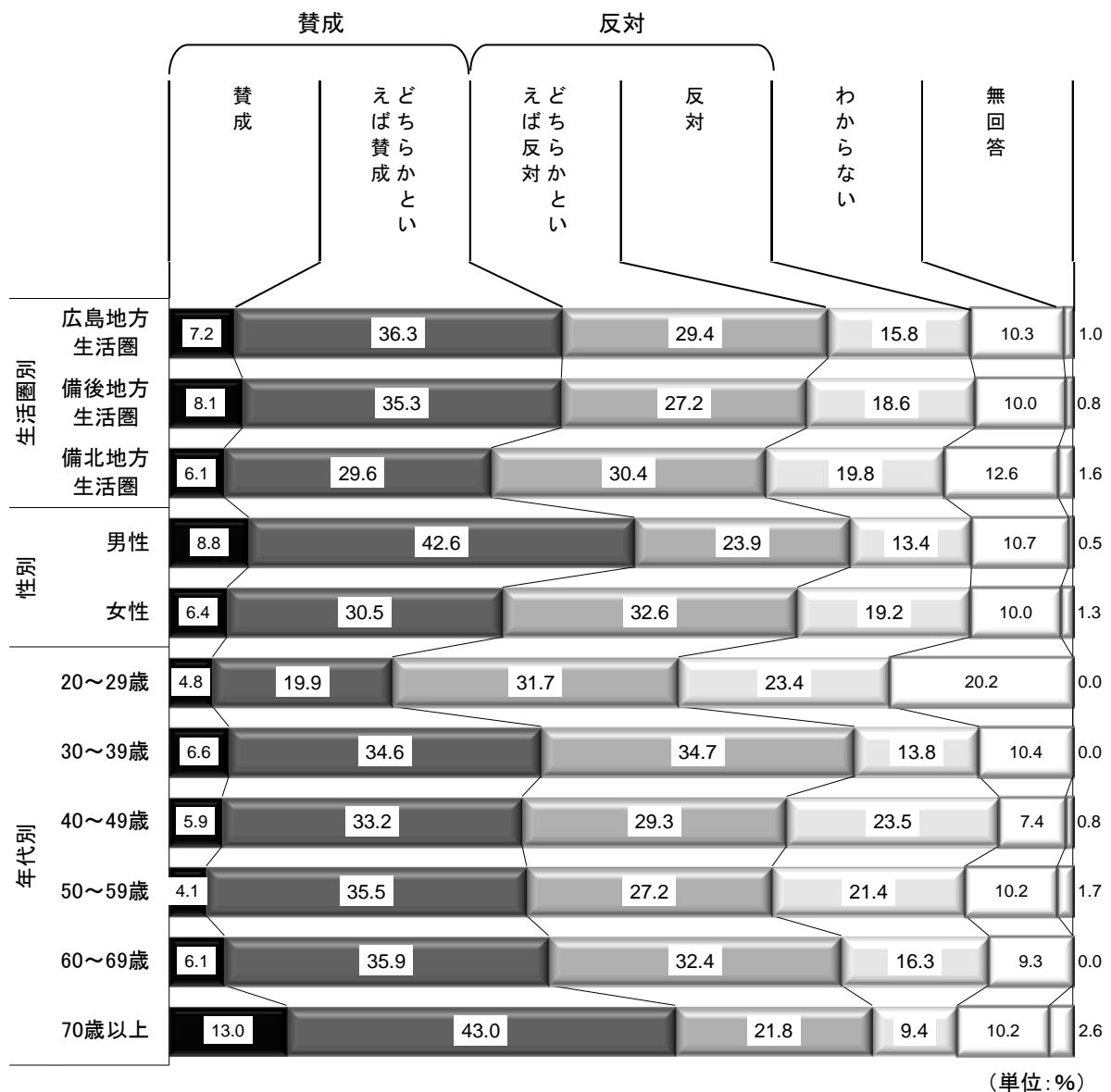
男性で「賛成」と回答した割合は51.4%で女性より14.5ポイント高くなっている。女性の「反対」は51.8%で、男性より14.5ポイント高くなっている。

【年代別】

「賛成」と回答した割合は70歳以上の年代で56.0%と他の年代より高く、「賛成」が「反対」を上回っている。一方で、20歳代～60歳代では「反対」が「賛成」を上回っている。

「夫は外で働き、妻は家庭で守るべきである」という考え方

(生活圏, 性, 年代別)



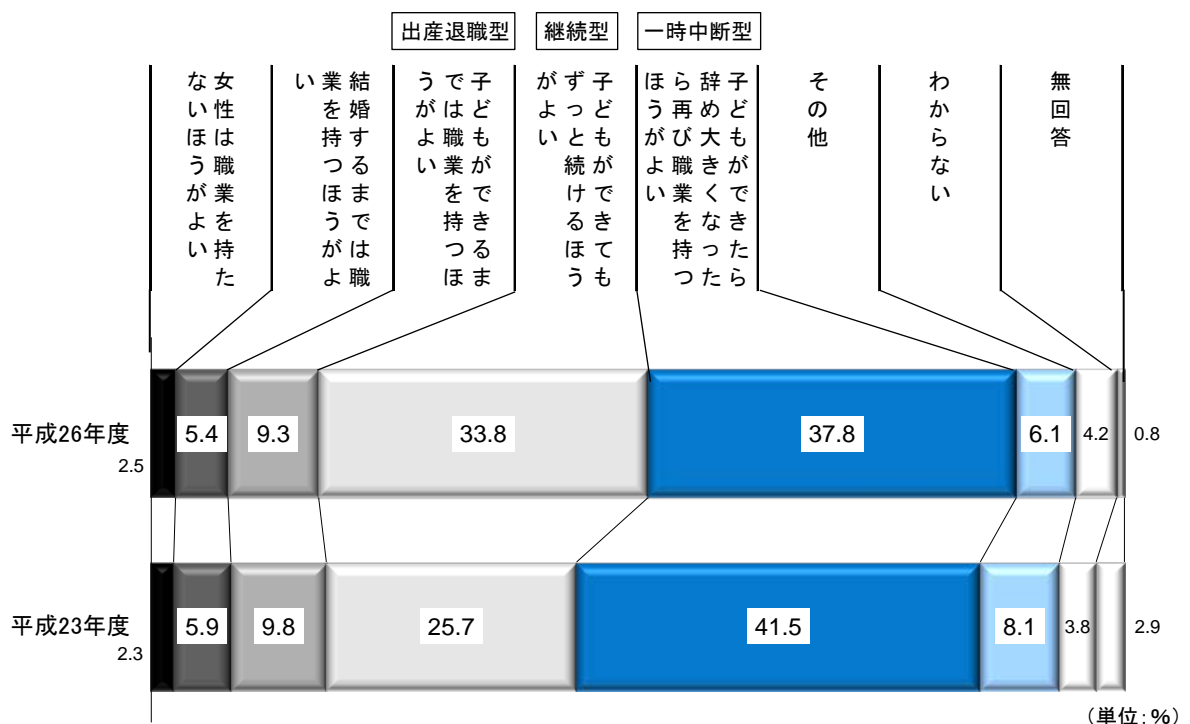
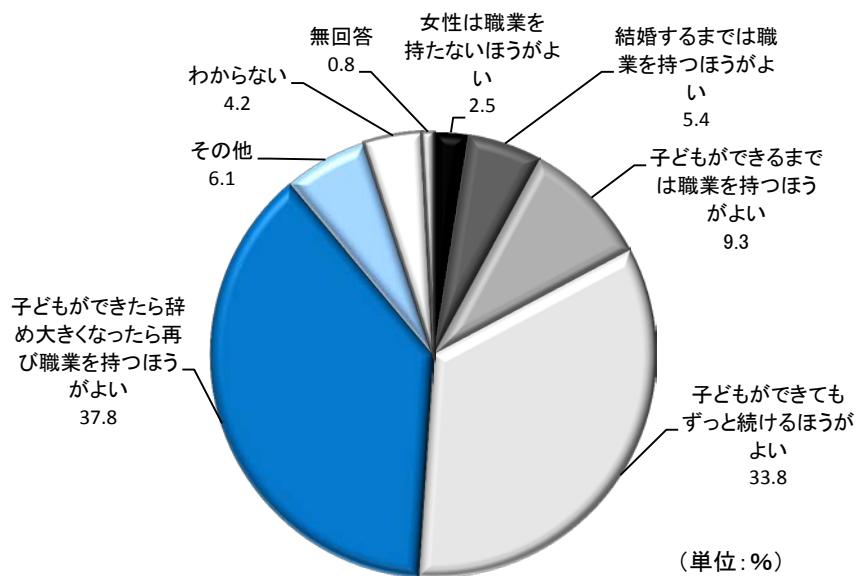
(3) 女性が職業を持つこと

問9 一般的に、女性が職業を持つことについて、あなたはどのように思いますか。あてはまるものを1つだけ選んでください。

「継続型」が増加

女性が職業を持つということについて、「子どもができれば辞め、大きくなったら再び職業を持つほうがよい」という「一時中断型」が望ましいと回答した割合は37.8%で最も高く、次いで「子どもができて、ずっと続けるほうがよい」という「継続型」は33.8%、「子どもができるまでは、職業を持つほうがよい」という「出産退職型」は9.3%となっている。

前回調査との比較では、「一時中断型」は3.7ポイント減少し、「継続型」は8.1ポイント増加している。



＜属性による比較＞

【生活圏別】

「継続型」と回答した割合は、備北生活圏が41.3%と他の生活圏に比べると高くなっている。

【性別】

女性で「一時中断型」と回答した割合は41.0%で、男性より7.4ポイント高くなっている。

【年代別】

30歳代と70歳以上では「一時中断型」と回答した割合が最も高く、その他の年代は「継続型」と回答した割合が最も高い。

女性が職業を持つこと(生活圏, 性, 年代別)

